



私はフラフープができません。小さい頃から何度か挑戦してきましたが、できません。

外遊びをしている年長の女の子が、事務室の窓越しに「せんせいみてー！」とフラフープを回して披露してくれました。それが本当に上手！落とさずに回し続けています。私も外に出て、フラフープを借りて回してみますが、案の定できません。できないとやる気もなくなるものです。見かねた女の子が「こしをまわすんだよ」「てはこうするんだよ」「さいしょにいきおいつけるんだよ」と手本を見せてくれました。様子を見ていた2歳の男の子がフラフープを持ってきて、短い腕を一所懸命使って体の周りで回しています。ストンとすぐに落ちます。それでも「みてー！」と何度も繰り返し、そして何より楽しそうです。こちらも「うわーすごいね！」と声を掛けると、嬉しそうにしています。そんな姿を見ていると不思議なもので、私自身のやる気も復活。再度挑戦しているとギャラリイが少しずつ増え、「うつつするんだよ」「おしいね」と声を掛けてくれます。何度かの挑戦の末、奇跡的に、数回フラフープが回りました。それを見ていた子どもたちから「いままわったじゃーん！」「よかったね」と言われて本当に嬉しかった、というお話です。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」〈年中・長児〉 12/1 (金) 14:00~

今月も幼児教育指導員の宮本先生、栗山先生が絵本や紙芝居の読み聞かせをさせていただきます。お二人の穏やかな語り口が子どもたちは大好きです。

おべんとうデー 12/20 (水)

「せんせい！みてー！」と本当に嬉しそうにお弁当を見せてくれます。愛情と幸せがいっぱい詰まったお弁当を今月もよろしくお祈りします！

てくてくミュージアム

12/7 (木) ~ 9 (土) 13:00まで

今年のテーマは「お店屋さん」です。子どもたちの作品をてくてくと歩きながらご覧くださいね。開催までの数日間はホールを締め切って準備します。お楽しみに！

交通安全教室 12/21 (木)

今回は「安全確認と一時停止」についてがテーマです。ぜひ、ご家庭でも道路の歩き方など、親子で一緒に確認する機会を作ってくださいね。

冬遊び交流会〈年長児〉

12/8 (金)

牛久第二小学校へ行き、1年生や他園の年長児と交流していただきます。今から楽しみにしているようです！

カレーライスの日

12/14 (木)

今回も年長児が材料の買い物に行ってくれます。「みんなで作って食べる」シンプルだけど最高の調味料です。

クリスマス会 12/22 (金)

子どもたちの夢見る気持ちを大切にしていきたいですね。ホールでみんなで唄ったり、キャンドルサービスもおこなう予定です。クリスマスならではの雰囲気を感じられますように。

誕生会

12/26 (火) 10:00~

一つ大きくなることは子どもにとって大きなエネルギーになります。友だちを祝う「おめでとー！」の声に一段と気持ちが込もっていますよ。

お知らせ・お願い

★薄手の衣服をご用意ください

園生活では、裏起毛やヒートテックのような吸湿発熱の素材の衣服はご遠慮いただいています。理由は、活動して汗をかくことで「汗冷え」が起こり、結果的に身体を冷やしてしまうからです。また、厚手の衣服は動きづらさもありますので、薄手の長袖等を複数用意していただきますとよろしいかと思えます。寒い日の戸外遊びは、ご用意いただいた上着を着たり、薄手の長袖を重ね着するなどして対応いたします。ご協力をお願いいたします。上着もモコモコしていない、フードなしのものをお願いいたします。

★今後の検査予定

- 尿検査 キット配布 12月1日(金) 回収 12月6日(水) 歯科検診 12月7日(木) 14:00~

★Mzkidsコンサート

2024年1月19日15:30~ Mzkids(ムズキッズ)様によるコンサートを予定しています。こちらの講演は保護者会費を活用させていただきます。子どもたちのためにありがとうございます。お時間の合うご家庭の方は一緒にご覧ください。 ※感染症の流行によっては子どもたちだけの観覧になる可能性があることをご了承ください。

★年末年始の日程について

2023年12月29日(金) ~ 2024年1月3日(水)

の期間は保育園もお休みとなります。年末は12/28(木)まで新年は1/4(木)からとなります。ご承知おきください。

★ランランフェスティバル(発表会)について

2024年2月23日(金・祝)におこないます。ひよこグループ(2歳児)以上の参加といたします。詳しくは後日手紙を配布いたします。

「脳はアナログを求め 子どもは実体験で育つ」 今年も残り一ヶ月になってしまった。アット言う間に一年が終わる。年をとると、時の流れが早く感じられるというが、そればかりではないだろう。コストパダの、タイパだのと、効率ばかりを追い求め、心の余裕をなくしている。便利を追い求め、不便になってはいないか。何でもスマホで手続きするようになり、操作に時間のかかる年寄り、振り回され、困惑するばかりである。「便利」って何なのか。一家に一台の電話が、一人に一台のスマホになり、通信費は数倍の高額になり、家計を圧迫する。一方で、大手通信、デジタル関連会社ばかりが大儲けしている。新機種が出て、機能が増え続け、高額になる。そして、買い替えを迫られる。家電や車、全てが修理し使い続けることを断られる。そんなに新しくしなければならぬのか、急がなければならぬのだろうか。▼最近、やたらにデジタル関連の教室を導入しないかという勧誘の電話がある。ロボットを操作する技術を教えるとか、AIを使えるように指導するとかいうものである。良く理解できないが、幼児期からそんなことをするより、自然の中で、自由に遊ぶことが大切である。

幼児期ほど、じっくり、ゆっくり育てたいものだ。子ども達と生活していると、遊びを通して、沢山の事を学んでいることを実感する。決して、スマホでは得られない体験をすること、大きく成長している。急いではいけないのだと思う。 様々な研究で体験活動と社会性などの関連が、指摘されている。体験を十分に積むことが成長に欠かせない。自然体験は、自己肯定感や社会性などと、文化的体験では、これらに加え、興味、関心や思いやりなどとともに、正の関連があることがわかっていく。AIが活躍する社会での人間の強みは、感性や気づく力が、AIを使いこなすためには、環境に目を向け、自分で考え、自分で行動し、その結果に責任を持つ体験をすることが大切。日常生活の中でも、あらゆる場で体験することはできる。家庭のお手伝いでも、役割を果すことで責任感が育つ。褒められたり、叱られたりして生まれる感性や、気づきが大切である。親子でスポーツをしたり、遊びを通して、認められることで自己肯定感を育む。

理事長 浅田 精利